

# グリーンスローモビリティの運行概要について

## 1. 背景・目的・内容

黒部市では「コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり」の方針のもと、市内を走る富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道を基軸として、それを補完する路線バス、デマンドタクシーにより中心市街地（三日市地区）への交通ネットワークの整備を進めており、中心市街地では無料公共自転車「ちょいのり黒部」を整備している。

三日市地区は市庁舎や市民病院、商業施設があるほか、更に令和5年10月には新たな交流の拠点施設としてくろべ市民交流センター「あおーよ」がオープンしており、これらの施設を結ぶ移動手段の充実や、高齢者や運転免許を返納された方など移動が不自由な人でも気軽に使える暮らしの足の充実が望まれている。

このようなことから、中心市街地の回遊性を高め、誰もが出かけやすい、出かけてたのしいまちづくりを目指し、市民の日常生活における交通を担う新たな移動手段として、環境にやさしく低速で安全なグリーンスローモビリティの運行を行い、高齢者等の外出促進とそれに伴う健康増進や、中心市街地の活性化による賑わいの創出を目指す。

## 2. グリーンスローモビリティの特徴（国土交通省の手引書より）

グリーンスローモビリティには、他の交通手段にはない特徴があり、その特徴を踏まえて運行することが、安全面や継続性の観点から重要となる。グリーンスローモビリティの特徴は下記のとおりとなる。

表 グリーンスローモビリティの特徴と留意点

特徴	運行に向けての留意点
① 時速 20 km未満	・交通量の多いところ、交通事故の多発するところはコースに含めない。 ・高速で走行する車両や後続車両への配慮が必要。 ・乗車時間が長くなる可能性があることから、ルートの設定に気を配る。
② 電動車を活用	・環境にやさしい反面、航続距離が限られるため、充電残量に配慮する必要がある。
③ 小さな移動サービス	・車両が小さいため、狭い路地でも通行が可能。一方で少量輸送以外には適さない。

### 3. 運行経路・期間・運行時間・運賃

グリーンスローモビリティの特徴を踏まえ、運行経路、期間、運行時間について下記のとおり設定する。

表 本市におけるグリーンスローモビリティの基本システム

項目	内容
①運行経路（経由施設の候補）	黒部駅・市民病院・電鉄黒部駅・メルシー・黒部市役所・くろべ市民交流センター・東部児童センター・東三日市駅・黒部郵便局・パッシブタウン付近
②運行期間	3月～11月（12月～2月冬期運休）
③運行時間	平日 9：00～16：00
④運賃	有償（一般乗合旅客自動車運送事業）

### 4. 実施主体及び運行主体

実施主体及び運行主体は以下を想定する。

【実施主体】	黒部市
【運行主体】	交通事業者

### 5. 車両について

車両については、グリーンスローモビリティの条件である、「最高速度 20 km/時未満で走行」、「電動車であること」に加え、下記の条件により選定する。導入台数は、バッテリー容量から午前と午後各 1 台の計 2 台を想定する。

<車両選定条件>

- ①雨天時や夏季の暑さ対策（運転手・乗客対応）のため、密閉式とし、エアコン装備車とする。
- ②小回りが利き、後続車両が追い越ししやすい車両であることを考慮し 6 人～7 人乗りとする。  
（全長 5 m 以下、全幅 1.5 m 以下）